

独居高齢者の健康維持と 地域組織活動への参加

金森 弓枝 生命科学研究部（保）
Yumie KANAMORI, Faculty of Life Sciences



1. 現代、独居高齢者は増加しており、その半数以上が最後まで自宅で暮らし続けたいと望んでいる。
2. しかしながら、独居高齢者は将来の日常生活動作能力の低下が大きいという身体的課題や抑うつ傾向などの精神的課題、地域組織活動への参加が少ないといった社会的課題を抱えている。
3. そのため、私は「地域組織活動への参加により健康を維持していると考えられる独居高齢者において、健康は相互交流を基盤にどのように維持されているのか」などについて研究している。
4. これまでの研究で、独居高齢者の健康維持には、身体的・精神的・社会的な側面からのセルフコントロールが重要であることを明らかにした。
5. 今後は、地域保健医療福祉職による効果的な支援方法を解明する。